

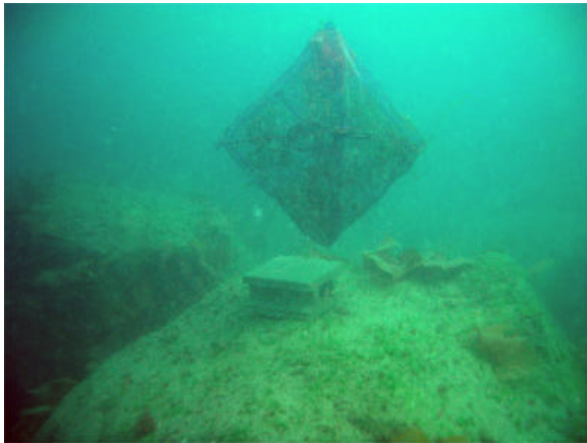
## 藻場づくり事業

スポアバッグ設置、約1ヶ月後の様子

興居島 6月8日(水)

つき磯の上に投入されたスポアバッグは、そのまま残っています。中に入れたアカモクは種(幼胚)を放出したあとは枯れるので、ほとんど残っていません。

スポアバッグから落ちた種から成長したアカモクは、まだ、肉眼では見えませんでした。



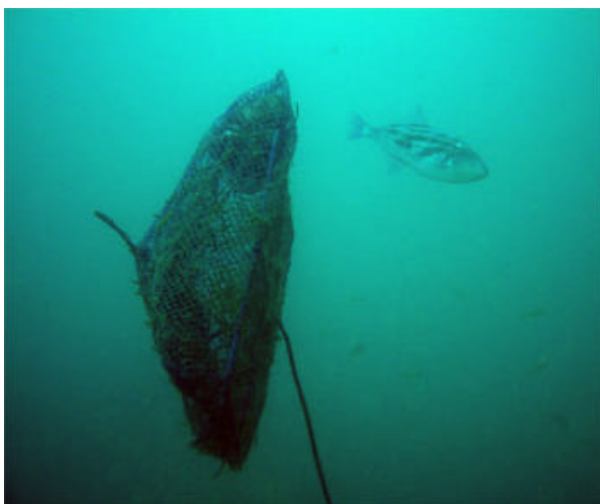
つき磯上のスポアバッグ1



つき磯上のスポアバッグ2



スパアバッグのおもり ふ泥がたい積して、アカモクの藻体は確認できません。



スパアバッグのまわりを泳ぐウマズラハギ